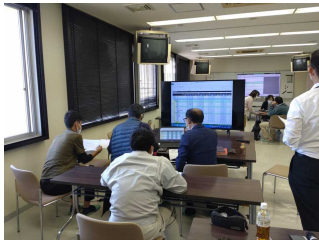


普及活動情勢報告（令和3年11月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

経営状況の把握に向けて資金繰り表を作成 ～集落営農法人研修会～



資金繰り表を作成している様子

農業担い手支援課主催で、10月21日、28日の2回にわたって、集落営農法人研修会が開催され、管内の2法人が参加しました。

普及所は参加を呼びかけ、アグリ事業サポートセンター講師の資金繰り表作成の説明をフォローしました。

経営実績の入力により、月次の現金の動きが把握でき、資金不足時期が予め分かっているとスムーズに対応しやすいことなどが理解されました。

今後は、実績が揃う年明け以降に再度講師派遣を依頼し、資金繰り表の予実管理を習得できるように支援していきます。

新園芸年度に入り経営面談の取り組みを再確認 ～経営支援会議～



個別面談を行う普及所とJAの職員

11月2日、JA高知県四万十営農経済センター会議室で、普及所とJAが10月に行った経営面談の結果を情報共有する目的で経営支援会議を行いました。

普及所とJAはそれぞれの品目担当と経営担当が対象農家の圃場を個別訪問して、栽培や経営の状況について経営面談を月に1回行っています。

同会議では経営面談結果に基づき対象農家の見直しや今後の対応についての協議も行われました。

普及所は今後もJAと協力して農家の経営発展に協力していきます。

まさに「百聞は一見にしかず！」 ～夏秋ピーマン部会、簡易雨よけ視察研修会～



視察研修会の様子（西土佐）

11月5日、JA高知県四万十夏秋ピーマン部会の生産者と共に、梶原町及び四万十市西土佐地域で視察研修を行いました。

研修では、斑点細菌病対策として導入を検討している『簡易雨よけハウス』を視察しました。参加者からは「思っていた以上にしっかりとしていた」や「コストパフォーマンスが良さそう」など、まさに百聞は一見にしかずといった意見が多く聞かれ、現地視察ならではの良い研修会となりました。

普及所では今後も、視察研修をはじめとした、夏秋ピーマンの生産振興に向けた活動を行っていきます。

ナバナの根こぶ病防除に向けて！ ～土壌処理剤とセルトレイ苗による防除効果の検討～



定植後のナバナの生育を確認中

普及所は、JA高知県十和支所管内ナバナ生産者のほ場にナバナの根こぶ病の防除効果を検討するための試験ほを設置しています。

11月5日、土壌処理剤を施用したこの試験ほに耕種的対策として推進するセルトレイ苗を定植用具を用いてJA高知県と協力して定植しました。

農家からは「地床苗を手作業で定植するよりも、セル苗を定植用具で植える方が早いと実感できた」「使ってみたいので貸して欲しい」という意見が聞かれ、作業の省力化が同時に図れるセルトレイ苗の導入へ前向きな意見をもらえました。

普及所は今後、実証ほを調査し、根こぶ病防除効果を検討していきます。

障害者雇用の推進に向けて関係機関が集結 ～四万十町農福連携推進協議会～



農福連携推進協議会の様子

11月5日、普及所会議室で、今年度第1回四万十町農福連携推進協議会を開催し、農業法人、障害者就労支援事業所、社会福祉協議会、町障害者就労・生活支援センター、町役場、JAの職員15名が出席した他、今春から町内に開設された県外企業の事業所からは担当者がウェブ会議システムで参加しました。

普及所は、前年度の農福連携の活動実績や今年度の事業計画などを説明しました。

意見交換では、新たな取り組みとしてメンタルヘルスのトラブルで引きこもりとなった方の農業分野での就労促進も検討され、活発に意見が出されました。

普及所では今後も、協議会会員と協力しながら、農福連携を推進していきます。